



雨量計

転倒ます型雨量計

騒音・振動・粉塵測定器

有害ガス検知器

水質測定器

土質・木材・コンクリート

非破壊検査

気象観測機器

その他測定器

通信関連機器

映像情報機器

安全管理機器

測量関連機器

技術資料
法規

通信 08

転倒ます型雨量計 34-T

- 転倒ます型雨量計と自記電接计数器（記録計）のセットです。
- 転倒ます型雨量計を屋外に設置し、自記電接计数器（記録計）を室内に置いて測定します。
- 時間雨量の測定による現場の地盤崩壊等の災害予知、現場状態管理に使用できます。

本体



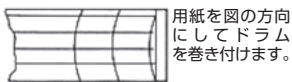
仕様

商品コード	R2R 00005 001
呼称	転倒ます型雨量計 / 自記電接计数器
メーカー	大田計器製作所
型式	34-T
気象庁型式証明	第92506号
受水口径φ	200mm ± 0.6
感度	一転倒雨量 0.5mm
出力信号	リードスイッチによるメーク接点出力
接点容量	3VA (30V 200mAmax) 自記電接计数器と接続の場合 / DC3V・100mA max
接点作動時間	0.1~0.2秒 ます左右の作動時間差 / 0.05秒
測定範囲	最大降雨強度: 150mm/h 以下
測定精度	20mm/h まで: ± 0.5mm、20mm/h 超過: ± 3%以内
受感部	黄銅クロムメッキ転倒ます
スイッチ	リードスイッチ(接点時間0.1~0.15秒)
検定	気象庁検定
表面仕上	ステンレス SUS304 表面ヘアーライン(シルバー)仕上げ
付属ケーブル	0.5mm ² × 2C VCTF 10m
寸法 外径φ	209mm
寸法 全高 H	450mm
質量	約 2.2kg
測定範囲	0~100パルス 反復記録 1パルス記録最小目盛りの1/2
電源	単 1 形アルカリ乾電池 × 2本 または DC6V 外部電源
連続使用時間	約 3ヶ月~約 1年(使用状況によります)。
ケーブル長	標準 10m
記録ペン	7日記録で約 1年間連続使用可能
円筒時計	1日 / 7日 / 31日兼用(スイッチ切替選択)
時間精度	① 1日用: 1日につき ± 4分以内、② 7日用: 7日につき ± 35分以内
記録紙用紙記号	① 1日用: Cat. No. CR-1 ② 7日用: Cat. No. CR-3 ③ 31日用: Cat. No. CR-31
記録紙用紙目盛	記録: 50分割目盛り(記録ペン: 1カウント毎、半目盛り移動) ① 1日用: 1目盛り / 10分 ② 7日用: 1目盛り / 1時間 ③ 31日用: 1目盛り / 4時間
記録紙送り速度	① 1回転 1日用の周速度: 1時間当たり 12mm ② 1回転 7日用の周速度: 1時間当たり 43.5mm ③ 1回転 31日用の周速度: 1時間当たり 10.26mm
円筒時計電源	単 3 形アルカリ乾電池 × 2本
連続使用時間	約 6ヶ月(1日用)、約 9ヶ月(7日用・31日用)
寸法 全幅 W	341mm
寸法 奥行 D	138mm
寸法 全高 H	236mm
質量	約 4.2kg

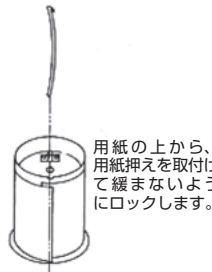
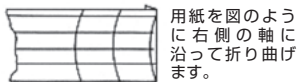
記録用紙の交換

- ① 自記円筒時計を取り外し、用紙押さえを外します。
- ② 時計ドラムに用紙をたるみのないように巻付けます
(用紙にたるみが出る場合は用紙押さえを内側に少し曲げます)。
- ③ 用紙押さえを取り付けます(1日・7日用と31日用の用紙では取付方が違うのでご注意ください)。

■ 図1 用紙: 1日・7日の場合



■ 図2 用紙: 31日の場合



用紙の上から、用紙押さえを取付けて緩まないようにロックします。

取付状態



ドラムに用紙を巻付けて折り目の中に用紙押さえを入れて差込み、緩まないようにロックします。

取付状態

販売品

- ・ 記録紙 (7日用 / 31日用)
- ・ カートリッジペン (7日記録で約1年持ちます)

付属品

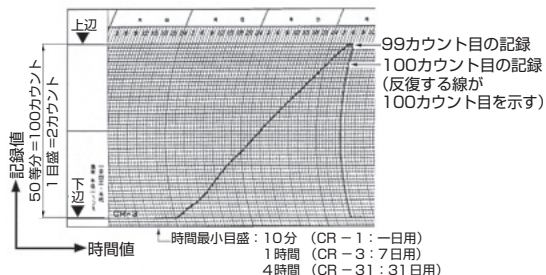
- ・ ろ過網 大
- ・ ろ過網 小、防虫網 × 2
- ・ 円筒時計
- ・ 2芯ケーブル 10m (本体に接続済)
- ・ カートリッジペン × 1
- ・ 記録紙 7日用 × 1枚

記録の読み方

目盛りの読み方

記録用紙は横軸に時間値を、縦軸は雨量などの記録値をそれぞれ示します。(図1参照) 時間値(横軸)は、左から右方向に移動します。最小目盛は使用する記録用紙の種類により、10分(CR-1: 1日用)、1時間(CR-3: 7日用)、4時間(CR-31: 31日用)となります。記録値(縦軸)は、下辺がゼロ点となり上方向に1/2目盛ずつ移動して記録しますので、1目盛は2カウントとなります。縦軸の目盛は50分割なのでフルスパンは100カウントとなります。

■ 図1 記録用紙: CR-3 (7日記録用)



記録の読み方

本計器は、雨量センサなどからのパルス信号を階段状に記録します。このパルス信号が1パルス入力する毎に1/2目盛ずつ記録ペンが移動します。(図2参照)

例えば、0.5mm転倒の雨量センサを接続した場合には、1パルス(0.5mm)の雨量信号を入力する毎に1/2目盛ずつ記録し100パルス目(50.0mm)に達すると記録ペンが一リセットされ、再びゼロ点より反復記録します。

この右上がりに増加する記録(雨量)値と時間経過を比較することで、降雨の強弱がわかります。

任意の単位時間内の積算値(時雨量や日雨量)を求めるには、その範囲時間内に記録されている記録値を合計して求めます。

■ 図2 雨量記録例

